

ペタンク通信

北海道ペタンク・ブール連盟
No.134 2023年5月
発行責任者 磯野憲二
メールアドレス ken-9753@sea.plala.or.jp
HP <http://www17.plala.or.jp/ken-9753/>

4年ぶりの北海道オープンペタンク森大会 コロナ禍からの脱却!!令和5年事業完全復活始動!!

5月14日(日)待望の北海道オープンペタンク森大会が開催されました。大会会場のサンビレッジ森ペタンクコートには道内外から21チームが参加して、4年ぶりの森町での大会を満喫しました。4年ぶりの大会、各協会を超えての混成チームが活躍し、31回目の優勝を制覇したのはむかわ町・池田町の男女混合チーム「アチーブむかわ」で、大会結果は優勝から3位までは男女混合チームとなり



前列左 準優勝・優勝・4位 後列3位

ました。



優勝 アチーブむかわ 大友・林(池田)・渡辺選手

ペタンクは老若男女に関係なく対戦できるスポーツ、そして生涯スポーツとして普及していかねばならないのですが、各協会の会員の高齢化、会員減少の中で大会参加のできる環境が変わってきています。その中でも、森町の大会では周辺市町村からのペタンク愛好者が参加する大会として、さらなるペタンク愛好者が参加できる大会になることが期待されています。

◎5月14日(日)サンビレッジ森ペタンクコート 21チーム(決勝12)

◎札幌市4(2)・安平町4(3)・森町4(1)・むかわ町1・むかわ/池田1(1)・函館市2(2)・ニセコ町1・白老町1(1)・池田町1(1)・美幌/北見1・千葉/森1(1)

◎成績 優勝 アチーブむかわ 大友三成・渡辺博司・林トキ子 (むかわ/池田)
準優勝 池田嵯峨チーム 嵯峨 旭・小野田義則・久保紀子 (池田町)
3位 チバ&モリ 杉山健一・杉山洋子・林 幸夫 (千葉県/森町)
4位 安平クィーン 今井悦子・舛田幸子・横谷裕美 (安平町)

第38回日本ペタンク選手権大会北海予選大会

4月の事前参加調査を受けて、本年度の予選大会開催要項が道事務局長から各協会へ送付されました。7月1日(土)・2日(日)2日間の日程により札幌市農試公園屋外広場で開催されます。対戦方式は男女別トリプルスで、男子10チーム、女子7チームの総当たり戦を行い、北海道代表男子3チーム、女子4チームを決定します。エントリーからの正式申込期日は6月9日(金)です。エントリーされた男子チーム、今年は各協会の混成メンバーもあり、代表としてのレベルアップを図っています。女子はエントリーしない協会もあり、7チームで4位までと男子の熾烈な順位争いに対して女子は勝敗とともに得失点差が順位を分けることとなります。女子はこれまで日本選手権での実績を残しており、いずれも強豪チームのエントリーとなっています。

◎男子 札幌1・白老1・安平1・むかわ1・池田1・北見3・美幌2 計10チーム

◎女子 札幌1・安平1・むかわ1・池田1・北見2・森1 計7チーム

(※事前調査の男子北見4チームが3チームに変更となりました。)

第35回全道高齢者ペタンク大会

第35回全国健康福祉祭えひめ大会北海道代表決定！！



(左) 準優勝 池田・優勝 安平・3位 北見

北海道代表を決めたのは、安平町ペタンク協会の「安平えみちゃん」チームで、予選3試合は全勝で1位、決勝トーナメント1回戦では時間終了前に見事な逆転となるポルテの追加点で勝利し、準決勝、決勝でもテレビアンな投球を連投しての6戦全勝で北海道代表となりました。えみちゃんだけに、笑顔が素敵なチームワークで他のチームを圧倒し、第31回に続いての安平町ペタンク協会が代表となりました。

5月28日(日)白老町民ふれあい広場において、道内4協会から16チームが参加して10月28日から開催される全国健康福祉祭えひめ大会スポーツ交流会「ペタンク」(会場:鬼北町)への北海道代表を目指して熱戦が繰り広げられました。



優勝 安平えみちゃん(左) 舛田・松山・舛田選手

◎5月28日(日)白老町民ふれあい広場 16チーム(決勝8)

◎安平3(2)・北見4(2)・池田4(3)・森5(1)

◎成績 優勝 安平えみちゃん 松山恵美子・舛田仲永・舛田幸子 (安平町)
 準優勝 嵯峨チーム 嵯峨 旭・小野田義則・坂本美枝子 (池田町)
 3位 サムライjp 芳賀洋子・山中清史・小野勝治 (北見市)
 4位 池田小林チーム 小林雅利・香田准子・佐藤 寛 (池田)

6月10日(土)JPBF 公認初級指導員資格検定講習会

財団法人北海道スポーツ協会主催令和5年度競技団体強化対策助成事業として、初級指導員資格検定講習会を6月10日(土)札幌市「西野第一会館」で講師(検定員)小成裕之さん(日本ペタンク・ブル連盟派遣)により行います。

- ◎趣旨 「ペタンク協議の指導員・審判員を目指す会員を対象に資格検定講習会を開催し、専門的な知識と実技の習得による、指導員の養成と資質の向上を図る。」
- ◎主催 公益財団法人 北海道スポーツ協会 公益社団法人 日本ペタンク・ブル連盟
- ◎主管 北海道ペタンク・ブル連盟 札幌ペタンク協会
- ◎期日 令和5年6月10日(土) 9時30分~17時00分
- ◎会場 西野第一会館 〒063-0036 札幌市西区西野6条8丁目10-33 会館横駐車場
- ◎講師 JBPF 公認 上級指導員 小成裕之氏・同 牧原 統氏(補助員)
- ◎講習内容 (初級指導員 実技講習時間6時間) ①基本動作 ②投球方法(ポワンテ・ティール) ③戦術 ④アトリエ ⑤実技(ポワンテ・ティール) ⑥検定(筆記試験) 新規受講者 検定料1,000円 認定料1,000円
- ② ◎その他 筆記具、昼食は各自持参すること。

第28回ペタンクジャパンオープンに参加

5月3日(水)～5日(金)日本ペタンク・ブール連盟主催で、埼玉県熊谷市「妻沼運動公園」で開催されたジャパンオープンのダブルスの部に138チーム、トリプルの部102チームが参加しました。大会結果は日本ペタンク・ブール連盟ホームページ「ペタンクジャパンオープン結果」を参照してください。

<https://fjpb.web.fc2.com/syusai/japan-open/2023/2023JO-kekka.html>

ジャパンオープンには道連盟会員の10名に加え、現在仙台市在住の元会員夫妻2名の12名が参加しました。また、トリプルではご縁のある三重、埼玉の会員との混成チームで参加しています。大会結果の通り、ダブルス、トリプルと順位決定戦で入賞を果たすなど、活躍しました。



山田夫妻・村上夫妻・中鉢夫妻・熊谷夫人・北林・熊谷・藤村(佐藤・阿部)



村上夫妻(左上) 佐藤・藤村(右上)
熊谷・阿部(左下) 村上夫妻・松田(右下)

各協会だより 北見市ペタンク協会

4月23日(日)会長杯をサンドームで開催しました。参加者25名、5試合を北見スマート方式により行いました。サンドームの使用は本日23日まで、24日から屋外の市民スケートリンク内多目的広場が練習場となります。

会長杯成績 優勝5勝 山中清史 準優勝4勝 村上幸江
3位4勝 大石恵美子 4位3.5勝 滝口洋祐 5位3.5勝 小野勝治 6位3.5勝 森谷美代子



村上・山中・大石

4月27日(木)屋外の練習場として使用する市民スケートリンク内広場にテントを設営し、コートライン(5m×15m)設置を会員21名で作業を行いました。

第7回北海道ティール選手権大会&第29回北海道オホーツクオープンペタンク大会

6月17日・18日 北見市民スケートリンク多目的広場

北見市ペタンク協会は大会準備中です!! ティール選手権出場 札幌2名 池田7名

美幌7名 むかわ2名 北見3名 21名

オホーツクオープン出場チーム 札幌3チーム

池田5チーム 美幌5チーム 北見・美幌札幌1チーム

士別1チーム 安平2チーム むかわ1チーム

むかわ・北見1チーム 北見8チーム 27チーム

北見市ペタンク協会の情報発信

北見市ペタンク協会ホームページ

<https://kitamisipetanque.wixsite.com/website>

北見市ペタンク協会ブログ

<https://kitamisipetanque.blog.jp/>



コートライン設置



得点版作製

札幌ペタンク協会

4月30日(日) 農試公園で第9回札幌商工会議所会頭杯を開催しました。10チームが参加して大会成績 1位 TEO 2位チームSY 3位チームYJでした。札幌ペタンク協会ホームページを参照してください。
<https://petanquesapporo.wixsite.com/mysite>



4月16日(日) 利別ペタンク場で池田オープンペタンク大会を開催しました。参加者30人によるトリプル・ダブルス、試合時間50分で4試合を北見市協会方式(スマート)で行いました。

池田ペタンク協会

大会成績 1位 4勝 久保紀子
2位 3勝 26点 香田克己
3位 3勝 22点 神内順子
4位 3勝 21点 武内 均
5位 3勝 20点 嵯峨 旭
6位 3勝 20点 中鉢 昇



北の大地のペタンク大会第35回ダブルス選手権大会

大会参加申込期限は6月30日(金)です。48チーム限定大会で、5月末現在受付件数は37チームです。参加受付票(ハガキ)を申込者に郵送していますが、随時受付状況を美幌町ペタンク協会ブログに配信していますので確認よしてください。<https://blog.goo.ne.jp/bihoro0152735618>

編集後記

ペタンクのご縁で、第35回全道高齢者ペタンク大会に参加することができました。初めての高齢者大会、そして初めて白老町を訪問しました。大会会場の白老町民ふれあい広場、野球場2面ほどの広さがあって、全国規模の大会ができそうです。道連盟事務局長のときに北海道・東北ブロックで日本選手権大会の誘致を協議していたのですが、池田・安平町での実績はあるのですが、男女各64チーム、ジュニアの大会会場としては難しく断念して、来年の秋田市に決定した経緯を思い出しました。高齢者大会



④ 開会式でお二人に花束贈呈

に参加した最高齢は男性が森町の林幸夫さん89歳、女性と同じく森町の梶谷和子さん95歳、健康でペタンクを楽しむことができるお二人の姿に勇気をいただきました。林さんは、先の森町の北海道オープンで千葉県杉山夫妻とチームを組んで3位入賞しています。テレビアン、ブラボーです。試合開始前の始球式として来賓らによるピュットに向けて一投がありました。今年3月の町長選挙で就任された大塩英男白老町長の投球はブラボーでした。いいね！白老町ペタンク協会の皆さんありがとうございます！！

(広報担当 磯野憲二)